



四月附中國復總第四五号 照會ニ係ル首題ノ  
件左記ノ通 回答ス

左記

一、調查自的

聯合軍總司令部提出資料並ニ當省業務資料トス

二、上陸地支局ト殘餘整理部トノ任務分界

一復第六八二号 別紙第二ノ規定ニ據ル

三、調査項目

(殘餘整理部)

1. 作戰經過 各時期ニ於ケル情況判斷 築城概要

彼我ノ損害、戰果、重要ナル教訓等。

0677

0751

陸軍

1. 作戰經過ノ概要

2. 築城ノ概要

3. 兵站、鉄道、船舶、通信(独立軍、方面軍以上)

4. 各時期ニ於テ之ノ清況判斷(独立師団、軍以上)

5. 謀報(含モシメテ)、(独立師団、軍以上)

6. 彼我ノ損害、戦果

7. 重要ナル教訓

独立師団、軍以上ニ於テハ重要ナル事項ニ就キ機密作戦  
目録的ノモノヲ記述ス

四 調査範圍

聯隊以上トス 但シ独立(部)中隊迄トス

五 調査部数

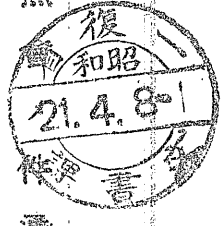
本 陸 軍 部 七 七

0752

史実部へ送付

中國復總第四五號

戰史資料ニ關スル照



3681

遺藤

昭和二十一年四月四日

中國復員監部總務部長

第一復員省次官 殿

南方總軍殘務整理部到着ニ伴ヒ戰史資料ヲ本格的ニ調査スルコトニ  
アリタルモ左ノ件ニ關シ至急承リ度

一、調査ノ目的

聯合軍ニ提出スルモノナリヤ

二、上陸地支局殘務整理部ニ於ケル調査ノ分界（當部トシテハ上

陸地支局ニテ一應概要調査ノ上其ノ成果ハ關係各殘務整理部

ニ送付シ各殘務整理部ニ於テ更ニ精査シタル後中央ニ送付ス

ル如ク希望ス）

三、調査項目

殘務整理部ノモノヲ明示セラレ度 上陸地支局ノモノハ現狀

一課  
傳

2/4

0753

ニ即シ當方ニテ決定致シ度  
尙司令部以上ニ於テハ機密作戰日誌的ノモノヲ必要トスルヤ  
否ヤ

四、調査範圍

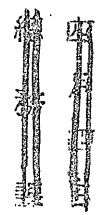
如何ナル部隊迄調査セシムルヤ

0754

別紙第一ノ傍ニ示ス

# 一復才六八三号

外地部隊復員ニ伴フ残務整理等ノ件達



第一條 本規定ハ外地部隊復員ニ伴フ残務整理等ニ關スル事項ヲ定ム  
 本規定ニ示ササル事項ニ關シテハ帝國陸軍(外地部隊)復員要領細則  
 (以下通稱ト略稱ス)陸軍留守業務規程(以下規程ト略稱ス)、外地  
 留守業務要領(外地規定ト略稱ス)其他關係諸條規ニ據ルモ  
 ノトス

本規定中細則、規程、外地規定ト異ル事項ニ關シテハ本規定ニ據ル  
 第二條 北部、東部、中部、西部各復員陸ハ夫々其ノ管轄上陸地ニ歸還  
 セル外地部隊ノ復員ヲ區處シ且其ノ殘務整理(特ニ定ムル部隊人員ニ  
 關スル事項ヲ除ク)ヲ管理スルモノトス

前項ニ據ル復員ノ區處ノ範圍及殘務整理ノ管理區分並ニ特ニ定ムル部  
 隊人員ノ殘務整理管理區分別紙第一ノ如シ

第三條 細則第八條ニヨル外地部隊ノ復員ハ上陸セル部隊又ハ個人、區  
 隊毎ニ夫々上陸地(通常上陸セル港灣ヲ謂フ)ニ於テ完結セルモノト  
 シ爾後ハ殘務整理管理官ノ定ムル所ニ據リ殘務整理ヲ實施スルモノト  
 ス

前項上陸地ニ於ケル復員ト殘務整理トノ關係區分ノ基準別紙第二殘務  
 整理實施期間ノ基準別紙第三ノ如シ

第四條 第二條ニ據ル殘務整理實施ノ爲北部 東部 中部 西部各復員  
 陸部及留守業務部ニ別紙第四頁ノ一ノ如ク定員ヲ置ク外別紙第四其二  
 ノ人員ヲ殘務整理管理官ノ定ムル部隊ニ増加ス

前項別紙第四其二ノ人員ハ通常殘務整理管理官ニ所屬又ハ其ノ指揮下  
 ニ入りタル時ヲ以テ兼附役編入、三等解除、解雇、解職、除隊ノ上定

員八トシテ選託ニ採用ス

三三條 第二條ニ據ル各級部 監理官並官ハ前條ニ據テ増加セル人手中所  
取ノ者ヲ上置シ或ハ派遣シ直統官並監等ニ當ラシムルコトヲ得此  
ノ場合ニ在リテハ派遣人並ハ別部ナク派遣先上置シ或ハ局長ノ指揮下ニ  
入ルモノトス

第四條ニ據リ派遣スル人員ハ一支局ニツキ十名以内ヲ基準トス

第六條 第四條ニ據ル人員ハ其ノ不ハハ地ヨリ補遣セル者ヲ以テ逐次  
之ヲ充足スルモノトシ其ノ充足候別紙第五ノ四シ

石人並ノ充用ニ方リテハ別ニ示スモノノ外左ノ者ヲ充ツルモノトス又  
別紙第四其二ノ人員ノ充用ニ方リテハ其ノ程度上申ノ要ナキモノトス  
一上置セル部中課員後ノ殘餘並課ノ爲必要ナル人員

二編則ニ依ル課員管理官並課員此ノ爲外他部取ヨリ直接上置地ニ派遣  
セラレタル人員中必要ナル者

三編則第二十二條該管部取ノ課員若クハ殘餘並課ノ指導若クハ統轄ニ  
任スヘキ人員

員並要ナル兵團、高等司令部ノ職員、**飛**(大)若クハ之ニ準スル部  
隊ノ長、副官、人專(功績)、選理、醫務部並將校、下士官、中隊  
若クハ之ニ準スル部隊ノ長、人專將校、下士官等ノ中必要ナル者  
及陸密電第一五三六號ニ據ル人員

前項陸密電第一五三六號ノ人員ニシテ統ニ遵守業務部ニ轉屬セラレ  
アル人員中必要ナル者ハ陸密電第一五三六號ノ人員ニ準シテ充用スルモノ  
トス

其外ノ他必要ナル者

六七條 殘務整理管理官ハ其ノ官柱スル殘務整理ノ爲相互ニ密接ニ連絡スルモノトス

六八條 本府殘務整理部長及建設部殘務整理部長ハ統理、監督ニ係留シ、人員及海上輸送便ニ遭難、母喪葬セル部隊、人員死ニ付空襲被害者等ニシテ生死不明トナルタル者等ニ付スル資料ヲ調査、整理ニ要領別紙類

六九條 各縣殘務整理管理官ニ通報スルモノトス  
七〇條 各縣殘務整理管理官ハ前項ノ各縣殘務整理部長ニ所要ノ要求ヲ爲スニ付  
七一條 各縣殘務整理管理官ハ其ノ官柱スル殘務整理ノ開始時期、執行場所

七二條 各縣殘務整理管理官ハ其ノ官柱スル殘務整理ノ開始時期、執行場所、(通常獨立隊區又ハ區以上ノ共區毎ニ區分ス)ヲ逐ニ第一復命大三、  
七三條 各縣殘務整理管理官ハ其ノ官柱スル殘務整理ノ開始時期、執行場所、  
七四條 各縣殘務整理管理官ハ其ノ官柱スル殘務整理ノ開始時期、執行場所、  
七五條 各縣殘務整理管理官ハ其ノ官柱スル殘務整理ノ開始時期、執行場所、  
七六條 各縣殘務整理管理官ハ其ノ官柱スル殘務整理ノ開始時期、執行場所、  
七七條 各縣殘務整理管理官ハ其ノ官柱スル殘務整理ノ開始時期、執行場所、  
七八條 各縣殘務整理管理官ハ其ノ官柱スル殘務整理ノ開始時期、執行場所、  
七九條 各縣殘務整理管理官ハ其ノ官柱スル殘務整理ノ開始時期、執行場所、  
八〇條 各縣殘務整理管理官ハ其ノ官柱スル殘務整理ノ開始時期、執行場所、  
八一條 各縣殘務整理管理官ハ其ノ官柱スル殘務整理ノ開始時期、執行場所、  
八二條 各縣殘務整理管理官ハ其ノ官柱スル殘務整理ノ開始時期、執行場所、  
八三條 各縣殘務整理管理官ハ其ノ官柱スル殘務整理ノ開始時期、執行場所、  
八四條 各縣殘務整理管理官ハ其ノ官柱スル殘務整理ノ開始時期、執行場所、  
八五條 各縣殘務整理管理官ハ其ノ官柱スル殘務整理ノ開始時期、執行場所、  
八六條 各縣殘務整理管理官ハ其ノ官柱スル殘務整理ノ開始時期、執行場所、  
八七條 各縣殘務整理管理官ハ其ノ官柱スル殘務整理ノ開始時期、執行場所、  
八八條 各縣殘務整理管理官ハ其ノ官柱スル殘務整理ノ開始時期、執行場所、  
八九條 各縣殘務整理管理官ハ其ノ官柱スル殘務整理ノ開始時期、執行場所、  
九〇條 各縣殘務整理管理官ハ其ノ官柱スル殘務整理ノ開始時期、執行場所、  
九一條 各縣殘務整理管理官ハ其ノ官柱スル殘務整理ノ開始時期、執行場所、  
九二條 各縣殘務整理管理官ハ其ノ官柱スル殘務整理ノ開始時期、執行場所、  
九三條 各縣殘務整理管理官ハ其ノ官柱スル殘務整理ノ開始時期、執行場所、  
九四條 各縣殘務整理管理官ハ其ノ官柱スル殘務整理ノ開始時期、執行場所、  
九五條 各縣殘務整理管理官ハ其ノ官柱スル殘務整理ノ開始時期、執行場所、  
九六條 各縣殘務整理管理官ハ其ノ官柱スル殘務整理ノ開始時期、執行場所、  
九七條 各縣殘務整理管理官ハ其ノ官柱スル殘務整理ノ開始時期、執行場所、  
九八條 各縣殘務整理管理官ハ其ノ官柱スル殘務整理ノ開始時期、執行場所、  
九九條 各縣殘務整理管理官ハ其ノ官柱スル殘務整理ノ開始時期、執行場所、  
一〇〇條 各縣殘務整理管理官ハ其ノ官柱スル殘務整理ノ開始時期、執行場所、

大臣ニ報告スルト共ニ留守兼務部長官ニ通報スルモノトス  
八九條 北野 東部 中部 西部 各區區長ハ第四條ノ規定後廢除(統

一 遺留以內)ノ殘務整理ニ任スル人員ヲ通常米價暴落ノ爲一時存置ス  
ルコトヲ得  
右人員ハ殘務整理、人學、宿營、**衛生**ニ係シ殘務整理ノ指揮ヲ受ク

第九條 帝國内ノ地ニシテ現ニ就任中ノ及ハサル地域ニ直接外地ヨリ歸  
還スル者ニ對スル遺留及殘務整理委員中本規定ニ據リ整理シ得サル事  
項ノ整理ニ就テハ別ニ定ムルモノトス

第十條 本規定施行ニ付ハ朝鮮半島殘務整理委員中ハ之ヲ解散スルモノトス  
二別紙ノ人事中第四條ニ規定スルモノハ殘務整理管理官便宜之ヲ區分シ所  
要ニ應シ原所屬部隊ノ編制ヲ逐シ整理セシムルコトヲ得 別 支那派



遺軍殘務整理部（復員連絡所）ノ如シ

三、本達實施ニ伴ヒ現ニ留守業務部ヨリ各上陸地支局ニ派遣シアル人員ハ之ヲ當該上陸地支局ヲ管轄スル復員監部ニ轉屬スルモノトス

四、本達實施ニ伴ヒ留守業務部長官ハ留守業務ニ關スル事務ニ付各上陸地支局長ニ所要ノ指示ヲ爲スコトヲ得

五、本達中中部復員監ニ關スル職責権限ハ夫々中國及東海復員監ノ管轄地域ニ上陸スル外地部隊（軍人軍屬）ノ復員、殘務整理、之ニ伴フ人員ノ増加、轉屬其ノ充足要領等ニ關シ中國復員監及東海復員監ニ之ヲ適

用ス

0758

別紙第一其一

外地部隊復員ニ關スル區處ノ範圍

一、外地部隊ハ細則第四條、第五條、第八條ニ據リ復員スルモノトス但

復員完結時期ハ復員監之ヲ定ム

前項ノ部隊ニ對シテハ復員監ハ復員ヲ援助又ハ指導ス

二、細則第二十二條。關係部隊及人員ハ復員監其ノ復員ヲ區處ス

0759

上陸地ニ於ケル復員ノ業務整理ノ基礎

上陸地ニ於ケル復員業務

整理

上陸地ニ於ケル復員業務ヲ以テ諸般ノ業務ニ於ケル復員ニ際シテ了ノ  
事ヲ完了スヘキモ已ムヲ得サル場ニ至リテ是等ノ事項即ち通常ノ業務トシテノ復員業務  
ニ於テモ上陸セル復員人、自國ニ對スルヲ完結スル外外部トシテノ夫等ノ  
事項整理ヲ完了スルト共ニ殘務整理ノ事務ヲ終了スルモノトス  
現業務ノ爲必要ナル基礎資料ヲ得ル  
トス

人事關係

一、人事關係中未處理ノモノ

ノ除隊、召集解除、豫備役編入  
解雇、解職、解備ノ實施

二、留守業務關係事項中未處理ノモノ

右ニ伴フ事務處理

三、部隊復員報告

存廢調査

四、經理關係

五、處刑者ノ引渡及之ニ伴フ事務  
六、患者ノ復員及之ニ伴フ事務處理

決算、之ニ伴フ經理關係書類ノ  
整理、報告

七、留守業務關係事項

五、軍政又ハ政務關係ノ整理

八、途中ノ死亡者ノ處理及之ニ伴フ  
事務處理

六、戦史資料、部隊履歷ノ整理、外  
地狀況ノ調査報告

九、金錢給與及之ニ伴フ事務處理

七、其地上陸地ニ於ケル復員ニ伴フ

十、兵團文字符調査

未整理事項

残存整理實施期間ノ基準表

部	隊	期	備
獨立大隊者ハ之ニ準スル部隊		五日以内	
大隊、獨立大隊		十日以内	
中隊、獨立中隊		二十日以内	
獨立セル司令部、本隊等		十日以内	
隊、編成隊團者ハ之ニ準スル聯合部隊		二十日以内	
方面軍、總隊		二十日以内	

一、或死傷、行方不明等ニ大ナル部隊ニ在リテハ隊員整理ニ於テ便宜期間ヲ延期スルニトシテ

二、或死傷、行方不明等ニ大ナル部隊ニ在リテハ隊員整理ニ於テ便宜期間ヲ延期スルニトシテ

隊下部隊ノ整理終了後ヨリ  
二十日以内

隊下部隊ノ整理終了後ヨリ  
二十日以内

隊下獨立部隊ノ整理終了後ヨリ  
二十日以内

十日以内

十日以内

五日以内

別紙第四其一

殘務整理要員增加區分表

官署	人員			備
	二級相當	三級相當	雇傭人	
北部復員監部	八	一〇	四七	夫々別紙第一其二ノ殘務整理管理隊ノ關係要員
中部復員監部	四五	六一	一三六	
西部復員監部	四五	六〇	一三〇	
留守業務部	五〇	七〇	一四〇	
留守業務部	五〇	七〇	一四〇	

一、本表人員ハ夫々當該官署ノ編制定員内ノ人員トス  
 二、本表人員ノ充足ハ別紙第五ニ據ル

別紙第四其二

殘務整理要員增加區分表

官署	人員			備
	二級相當	三級相當	雇傭人	
北部復員監部	六	一三	二一	別紙第一其二ノ殘務整理管理隊ノ短期(約一ヶ月以内)殘務整理ノ爲要員トシ別紙第一其二備考第一ノ人員トス
東部復員監部	四三	一六一	一四三	
中部復員監部	三〇	一〇九	一〇九	
西部復員監部	八九	二六四	二五六	
留守業務部	二〇	四〇	八〇	

一、本表人員ハ増加配屬官署ノ定員外(屬託)トス  
 二、本表人員(高等文官)ハ二級相當ニ、下士官(判任文官)ハ三級相當ニ、兵ハ雇傭人トナス  
 三、本表人員ノ充足ハ別紙第五ニ據ル

別紙第五

業務整理要員充足基準表

部	隊	昭和二十二年四月ニ於ケル人員	殘餘ノ人員ノ充足
在千島・樺太部隊		定員ノ五分ノ一。定員外ハ未充足	部隊ノ歸還ニ伴ヒ定員。定員外共逐次
第八方面軍。第十八軍		定員。定員外共五分ノ四以内	第八方面軍ノミ歸還ニ伴ヒ逐次
第三十七軍。第二軍		定員ノ二分ノ一以内。定員外ノ五分ノ一以内	部隊ノ歸還ニ伴ヒ逐次
臺灣軍		全員	全員
南方總軍（第二軍。第三十七軍ヲ除ク）		定員ノ二分ノ一以内。定員外ノ五分ノ一以内	部隊ノ歸還ニ伴ヒ逐次
在滿洲及在北鮮部隊		定員ノ五分ノ一以内。定員外ハ未充足	部隊ノ歸還ニ伴ヒ逐次
支那派遣軍		全員	全員
第三十一軍。第三十二軍。第十四方面軍。第百九師團		全員	全員

備考  
一、部隊ノ歸還ニ伴ヒ逐次定員ヲ充足スト雖定員。定員外ノ完全充足ノ時期ハ當該部隊ノ大部力歸還セルトキトス

二、未歸還部隊ニシテ當初ヨリ充足スル人員ハ當該部隊ノ爲メ準備要員トス

航空(船舶)関係部隊(官人軍備)管理資料  
(航空)間遭難(海没)(行方不明)要領  
(官人軍備)管理資料  
記載要領

一 部隊ニ就テハ左ノ要領中必要事項ヲ具備ス

部隊名(通稱名) 編成(改編)(復員)年月日

派遣地(作戦地) 出陣地、出陣年月日、乗船名

到着地(遭難、海没)ハ其ノ推定地

到着年月日(遭難、海没)又ハ其ノ推定年月日

部隊長ノ職官氏名、部隊人員其ノ人名(爲シ得レハ職官、軍

本籍地、留守職官者住居氏名) | 遭難、海没セル部隊ハ其

之ヲ明ニス

派遣地及出陣前ノ所在地、経緯

二 官人、軍備ニ就テハ左ノ要領中必要事項ヲ具備ス

人名、職官等級、所属部隊(通稱名)

本籍地、留守職官者住居氏名

遭難(海没)行方不明)或ハ年月日、地點(推定)含む

出陣(出發)地、同年月日、日付(到着)地、南緯北緯年月日

指揮官名、官人ノ任務

三 艦艇(船舶)管理資料ニ在リテハ主トシテ機務管理官ノ要求

スル事項ニツキ調査スルモノトス

加部第七

残務整理報告通報（其ノ一）

- ① 終戦時ノ所在地
  - ② 復員地
  - ③ 復員年月日
  - ④ 残務整理責任者職官氏名
  - ⑤ 終戦時在任シタル人員
  - ⑥ 整理不可能ノ事項（留守業務部ニ移管ヲ要スル）
  - ⑦ 整理不可能ヲ豫想スル（留守業務部ニ移管ヲ要スル）事務ト其ノ内容
  - ⑧ 其他
- 整理不可能ノ事項ノ概要
- ① 軍政 政務関係
  - ② 其他
- 残務整理終了豫定期
- 整理不可能ヲ豫想スル（留守業務部ニ移管ヲ要スル）事務ト其ノ内容
- 其他
- 注意

以上ノ主要部隊又ハ残務整理上特ニ注意ヲ要スル部隊ニツキ部隊毎ニノ葉トナスモノトス  
 （用紙規格版半枚）

整理不可能ノ部隊ニアリテハ概ネ以上ノ要目ヲ含ミ纏メテ一表トナスモノトス

残務整理報告通報（其ノ二）

- ① 残務整理終了年月日
  - ② 残務整理責任者職官氏名
  - ③ 残務整理責任者ノ歸還地（住所）
  - ④ 整理不可能事務（留守業務部ニ移管ヲ要スル事務）
- 註 務メテ内容ヲ詳細ニ記述スルト共ニ之ニ最モ通曉シタル者ノ  
 舊職官氏名 歸還地（住所）ヲ併セ記入ス

以上ノ注意

本様式ハ残務整理未了事務有ル部隊毎ニ一葉（規格版 $\frac{3}{2}$ 大）トス

未了事務無キ部隊ハ概ネ上記要目ヲ含ミ纏メテ一表トナスモノトス









北平	一六八名	太原(大同)	二〇名	濟南	四四名
青島	七九名	テイシウ	三名	徐州	二三名
連雲	七名	長沙	二七名	漢口	一〇二名
南昌	二名	南京	一三名	上海	六三名
臺灣	六〇名	廣東	七一名	海南島	一〇一名
海防	一八九名	計	一〇〇六名		

(2) 日本人辯護士等出廷ノ件各地(太原、北平、濟南、徐州、上海、南京、漢口、廣東、臺北、錦州、衡州)軍事法廷ニ於ケル  
 戦犯公判モ逐次開始セラルベキヲ以テ米軍裁判同様日本人辯  
 護士及証人参考人ヲ法廷出廷ノ件ニ関シ屢次要請中ナルモ中  
 國側ハ「戦犯ハ中國ノ國內法ニ基キ裁判スルモノナルヲ付」米軍側  
 ニ拘ラス中國國內法規定通り日本人辯護士ノ法廷許可ヲ又曰  
 本人及参考人ハ必要ニ應ジ招致スルコトアルベキ旨ノ回答ニ接シアリ

(3) 戦犯連絡班殘置件一般軍民ノ還送終了ト雖モ各軍司令官

責任者トシテハ多数ノ拘留者ヲ残置シテ歸國スルコトハ情理上絶對之ガ許サザルヲ以テ拘留者ノ裁判終了迄各地ニ最小限ノ連絡班ヲ残置方屢次懇請中ナリ。中國總司令部ヨリハ未ダ正式回答ナギモ右名義ヲ以テスル残置ハ困難ナラズヤトモ豫想シアリ然レドモ現地中國側諒解ノ下ニ太原ニ於テハ山岡參謀長以下約六〇名、廣東ニ於テハ山津高級參謀以下一六名、臺北ニ於テハ秋山中佐以下數名残置シテ狀況ナルニ付他ノ地区ニ於テモナントカニテ残置シタテ念願シアル次第ナリ

ニ 強制留用関係

(1) 強制留用教一般軍民還送後ニ於テモ左ノ如ク留用方中國總司令部ヨリ指令アリ

(イ) 誠字第三七號 訓令(四月八日)

臺灣一月丁迄 二八〇〇〇名

(ロ) 誠字第三三三號 訓令(五月四日)

三ノ礦山工場関係技術(指名)及家族ヲ年末迄留用

太原 三名、北平 六六名、青島 五五名、南京 三七名、

漢口 二名、海南島 二五名、

(2) 特種情報関係

留用現在北平(三名)、濟南(七名)、南京(一〇名)派遣備用中

ノ特種情報関係者ヲナルベク多ク長期留用スベク中國側ニ工作

中ナルモ特ニ本業務ノ性質ニ鑑ミ將來ヲ洞察シタル上飽ク迄殘

留ヲ希望スル者ノミヲ留用セシムル如ク措置中ナリ

而シテ濟南ニハ既ニ軍関係者ナキヲ以テ同地ニ於テ備用中ナル七名

ノ本心ヲ確メ得ザル實情ニアリ

(3) 高地留用者 前述誠字第三七號、三三〇號及特種情報関係

希望者以外ノ留用ハ中國政府トシテハ絶對ニ認めアラザルニ拘ラス

各高地中國機關ニ於テハ右以外ニモ留用セントスルモノ尠カラズ特ニ

山西省ハ今尙約五〇〇名(内現地產制備用約三〇〇名)殘留

シアルニ拘ラス閩錫山長官ハ皆無ナリト報告シタル實情ナルニ付之

ガ解決方目下銳意努力中ナリ

(4) 連絡班残置ノ件 前述誠字第三〇七號、三三〇號訓令ニ據ル曰  
本人ノ留用ハ果シテ合法的ナルモノナリヤ 甚ダ疑問トシアルモ軍ノ  
責任者トシテモ是等多數ノ強制留用者ヲ残置シテ歸國スルコトハ  
情理上絶對ニ忍ビ難キ所ナルヲ以テ各地連絡班ヲ残置シ備用解  
除、收容、還送等ニ當ラシメ度 特ニ戦犯連絡班ノ残置ハ見込  
薄ク本連絡班ヲ以テ兩者ノ任務ヲ兼ホシメ度存ジ 太榮、北平、  
青島、上海、南京、漢口、廣東、臺北ニハ各一口内外ノ連絡班  
ヲ強制留用者解除時期 即チ年末迄残置セシムル様目下要請中ナリ  
右認可ノ場合ニハ南京ニ於テ所要ノ幕僚ヲ残留スル豫定ナリ、又  
各連絡班内地ニ歸還迄ハ當該司令部復員完結セアルモトス  
三、東京ニ於テモ聯合國側トモ連絡ノ上左ノ件開示アリ度  
以戦犯公判ハ國際法ニ根據ヲ置クモノト存スルモ日本人辯護士ハ前  
述ノ理由ニ依リ出廷セシメ得アルモノナリヤ

0772

(2) 誠字第三〇七號、三三〇號訓令ニ依リ日本人強制留用スルコトハ朕

合國側ノ正式ニ認メルモノナリヤ、

(3) 萬一當地折衝ニ依リ連絡班ノ殘置不可能ナル場合中央トシテモ如

何ニ措置セラルル腹案ナルヤ

通 電 先、 次 官、

參 考、 支 復、 甲、 統、 上 海、

(終)

0773





略號

至急電報

宛 次官

總參覽第四(次)號

支那派遣軍總參謀長(南京)

〃	〃	五	昭
〃	〃	一七	二
〃	〃	一五	一
〃	〃	一五	二
〃	〃	一四	一
〃	〃	二五	〇
〃	〃	〃	〃

青島軍通信所ハ十七日閉所スルニ付自今青島向電報ハ中断セズ  
 眞ニ必要ナルモノハ總軍宛トシテ發信セラルルハ當方ニテ華文ニ  
 離談ノ上ニ電通信機關ヲ經由シテ轉電ス  
 但シ本通信モ目下極メテ時日ヲ要シ然モ確實ヲ期シ難キニ付必  
 爲

通電先、 隸下各軍、 鄭州、 徐州、 統、 連絡所、 一復、 支復

(終)